

地 理 A

(解答番号 ~)

第1問 地理的技能とその活用、および日本の自然災害に関する次の問い合わせ(問1~6)に答えよ。(配点 20)

問1 次の表1は、東京からバンコクとドバイに向かう直行便について、ある年の1月のフライトスケジュール*と所要時間を示したものである。また、後の表2は、各都市のグリニッジ標準時(GMT)との時差を示したものである。表1中のアに当てはまる所要時間と、表2中のイに当てはまるグリニッジ標準時との時差との正しい組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。

*時刻はすべて現地時間で示した。

表 1

フライトスケジュール	所要時間
東京発 11時45分 → バンコク着 17時05分	ア
東京発 22時30分 → ドバイ着 5時30分(翌日)	12時間00分

航空会社のウェブサイトにより作成。

表 2

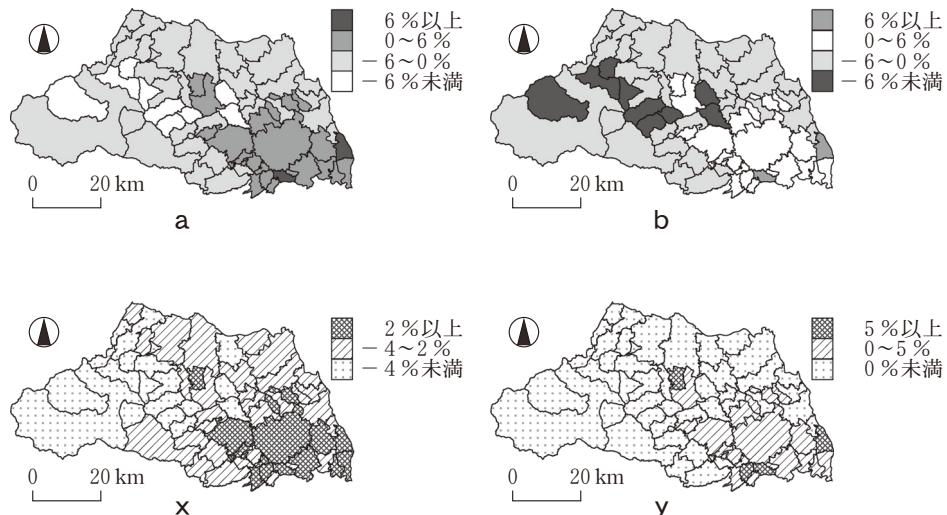
都 市	グリニッジ標準時との時差
東 京	+ 9 時間
バンコク	+ 7 時間
ドバイ	イ

	①	②	③	④
ア	3時間20分	3時間20分	7時間20分	7時間20分
イ	+ 3 時間	+ 4 時間	+ 3 時間	+ 4 時間

地理A

問 2 次の図1中のa・bとx・yは、ある県の市町村別の人口増加率について、階級の数や濃淡・パターン、階級を区分する値を変えて描いた階級区分図である。階級区分図の注意点に関する会話文中の空欄力とキに当てはまる記号の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

2



統計年次は2010～2015年。国勢調査などにより作成。

図 1

先生 「aとbを比べると、階級数や階級を区分する値は同じでも異なった印象の地図になりますね」

イヅミ 「値の大小の順序と濃淡の順序が一致し、直感的に人口増加率の大小を把握しやすいのは(カ)だと思います」

先生 「そうですね。では次に、xとyを比べてみましょう」

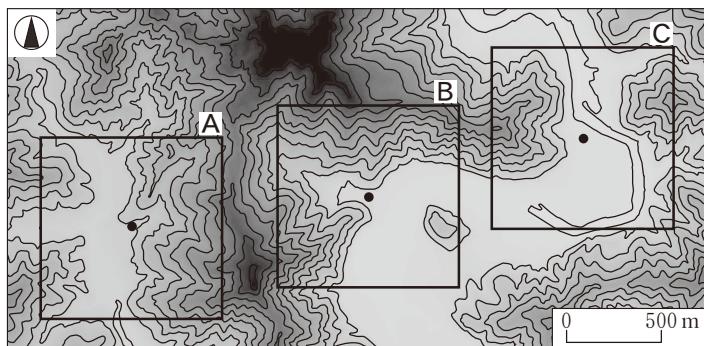
イヅミ 「階級を区分する値が異なり、読み取れる地域差も違います。人口が増えたか減ったかを確認するには、(キ)が適していると思います」

	①	②	③	④
カ	a	a	b	b
キ	x	y	x	y

地理 A

問 3 次の図 2 は、ある地域の地形を表現したものである。また、後の図 3 中のサ～スは、図 2 中の A～C のいずれかの範囲について、各範囲内の黒丸印で示した地点から見える領域と見えない領域を示したものである。A～C とサ～スとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

3



等高線の間隔は 30 m。色の濃い部分ほど標高が高い。
基盤地図情報により作成。

図 2

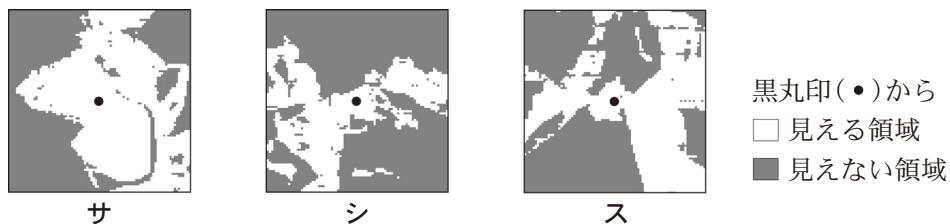


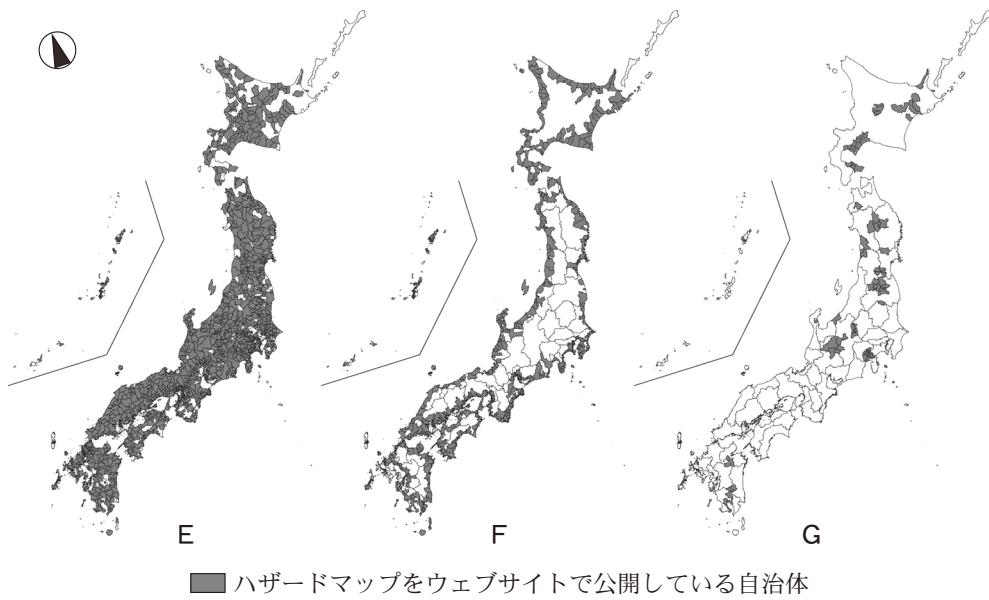
図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	サ	サ	シ	シ	ス	ス
B	シ	ス	サ	ス	サ	シ
C	ス	シ	ス	サ	シ	サ

地理A

問 4 次の図4は、いくつかの自然災害について、自治体別のハザードマップ公開状況を示したものであり、E～Gは、火山、津波、土砂災害のいずれかである。自然災害名とE～Gとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

4



公開状況は2020年時点。

国土交通省の資料などにより作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
火 山	E	E	F	F	G	G
津 波	F	G	E	G	E	F
土砂災害	G	F	G	E	F	E

地理A

問 5 次の写真1中のタ～テは、いくつかの自然災害に対する備えを撮影したものである。これらの備えについて説明した文として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 5



タ



チ



ツ



テ

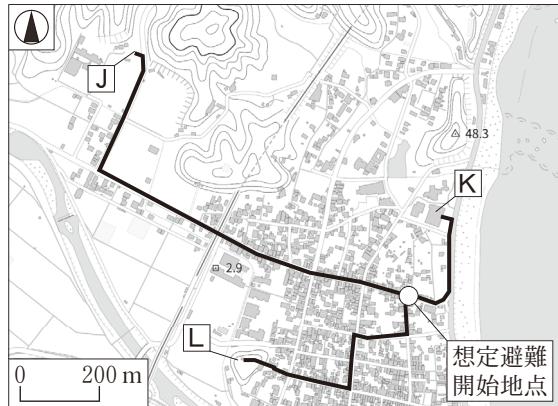
写真 1

- ① タは、津波による被害が想定される地域において、近くの高台などへの避難が困難な場合に緊急に避難するための施設である。
- ② チは、積雪地域の道路において、雪崩をせき止めることにより、交通障害を防止するための柵である。
- ③ ツは、火山噴火に伴う噴石などから身の安全を確保するために、緊急に避難するための施設である。
- ④ テは、増水した河川の水を一時的に貯留し、ゆとりのある別の河川に排水することによって、洪水被害を軽減するための施設である。

地理 A

問 6 次の図 5 は、想定避難開始地点から津波避難場所 J～L への徒歩による避難経路を示したものである。また、後の文マ～ムは、津波避難場所 J～L とそれらへの避難経路について比較したものである。J～L とマ～ムとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

6



地理院地図により作成。

図 5

- マ 避難に時間がかかり、高架橋の崩落や建物の倒壊により経路が遮断される可能性を考慮する必要がある。
- ミ 避難に要する時間は比較的短いが、津波到達後は避難した建物が孤立する可能性を考慮する必要がある。
- ム 標高が最も高い避難場所であるが、周囲が浸水し孤立する可能性や建物の倒壊により経路が遮断される可能性を考慮する必要がある。

	①	②	③	④	⑤	⑥
J	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム
K	ミ	ム	マ	ム	マ	ミ
L	ム	ミ	ム	マ	ミ	マ

地理 A

第 2 問 世界の生活・文化に関する次の問い合わせ(問 1 ~ 6)に答えよ。(配点 20)

問 1 次の図 1 中のア～ウは、後の図 2 中の A ~ C のいずれかの地域でみられる伝統的な住居の平面図である。ア～ウと A ~ C との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

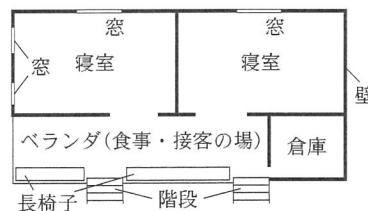
7

省 略

省 略

ア

イ



ウ

川島宇宙『世界の民家・住まいの創造』などにより作成。

図 1

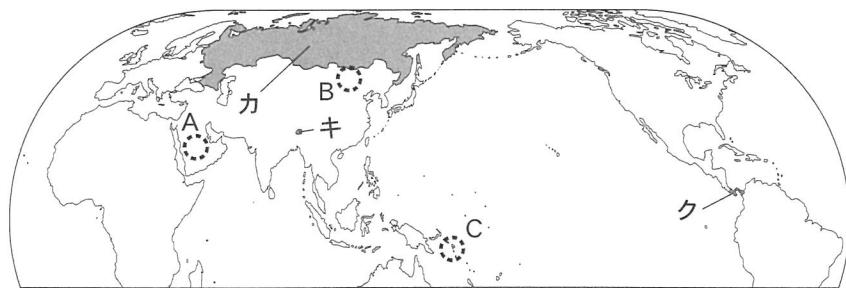


図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

問 2 国歌には、歌詞からその国の自然環境や歴史、文化、政治体制などを読み取れるものがある。次の表1中のE～Gは、前ページの図2中のカ～クのいずれかの国における国歌の歌詞の一部である。E～Gとカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

8

表 1

E	過ぎし苦難のかずかずに 晴れて終わりの幕を引き、 空を調和の光もて かざることこそ願わしけれ。 韶 ^{ひび} く歌声おごそかに, 街縫 ^ぬ いわれら進みゆく。 足下にほえるふたつの海, われらの道をさししめす。
F	省略
G	白 ^{びやくだん} 檀 ^{だん} にかざられたる雷 ^{らい} 龍 ^{りゆう} 王 ^{おう} 国 ^{こく} におわします 聖俗 ^{せいぞく} ふたつの教えの守り手, 高貴にしてほまれ高き統治者 ^{とうちしゃ} は領土をひろげたまい, 不変の人格 ^{ふわん} は永遠にとどまりたもう。 仏陀 ^{ぶつだ} の教え栄えるごとく 平和と幸福 ^{にちりん} の日輪 ^{たみ} が民のうえにかがやかんことを。

プリストウ『世界の国歌総覧』別宮貞徳訳(原著の出版年は2006年)より引用。

	①	②	③	④	⑤	⑥
E	カ	カ	キ	キ	ク	ク
F	キ	ク	カ	ク	カ	キ
G	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理A

問3 次の写真1中の①～④は、オランダ、カナダ、韓国、北アフリカのモロッコのいずれかの国で古くからみられるはきものを撮影したものである。カナダで古くからみられるはきものとして最も適当なものを、写真1中の①～④のうちから一つ選べ。

9



稻わらを編んで作られた

①



シカなどの皮革を縫って作られた

②



ポプラの木を彫って作られた

③



ヤギなどの皮革を縫って作られた

④

写真 1

地理A

問 4 次の表2中のサ～スは、オーストリア、ベトナム、モンゴルのいずれかの国における、1人1日当たりの食料供給量と、それに占める動物性カロリーの割合を示したものである。また、後の写真2中のJ～Lは、オーストリア、ベトナム、モンゴルのいずれかにおける特徴的な料理を撮影したものである。モンゴルに該当する記号と料理との正しい組合せを、後の①～⑨のうちから一つ選べ。

10

表 2

	1人1日当たりの食料供給量(kcal)	動物性カロリーの割合(%)
サ	3,768	30.2
シ	2,745	20.9
ス	2,510	33.1

統計年次は2013年。『世界国勢図会』により作成。



J 小麦粉の衣で牛肉を包み、油で揚げた料理



K 米粉の麺にスープをかけ、鶏肉などをのせた料理



L 羊肉入りのスープに、小麦粉の麺を入れた料理

写真 2

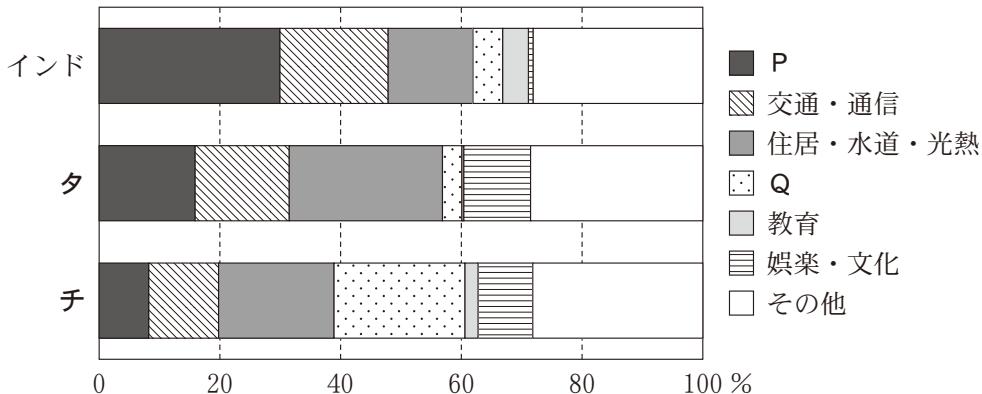
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
記 号	サ	サ	サ	シ	シ	シ	ス	ス	ス
料 理	J	K	L	J	K	L	J	K	L

地理 A

問 5 次の図 3 は、いくつかの国における家計の消費支出の割合を示したものであり、タとチはアメリカ合衆国とスウェーデンのいずれか、凡例 P と Q は医療・保健と食料*のいずれかである。スウェーデンと医療・保健との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

11

*嗜好品などを含む。



統計年次は 2017 年。

National Accounts Official Country Data により作成。

図 3

	①	②	③	④
スウェーデン	タ	タ	チ	チ
医療・保健	P	Q	P	Q

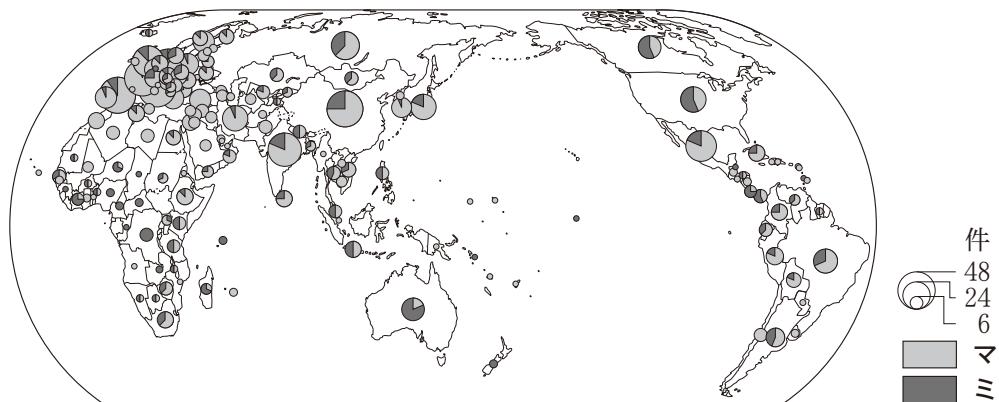
問 6 次の図 4 は、国・地域別の世界自然遺産および世界文化遺産の数*とその内訳を示したものであり、凡例マとミは、世界自然遺産と世界文化遺産のいずれかである。また、後の図 5 は、国・地域別の危機遺産**の数を示したものであり、危機遺産について述べた文章中の空欄 X には、後の文 a と b のいずれかが当てはまる。世界自然遺産に該当する記号と空欄 X に当てはまる文との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

12

*世界自然遺産と世界文化遺産の価値を兼ね備えている世界複合遺産は含まない。

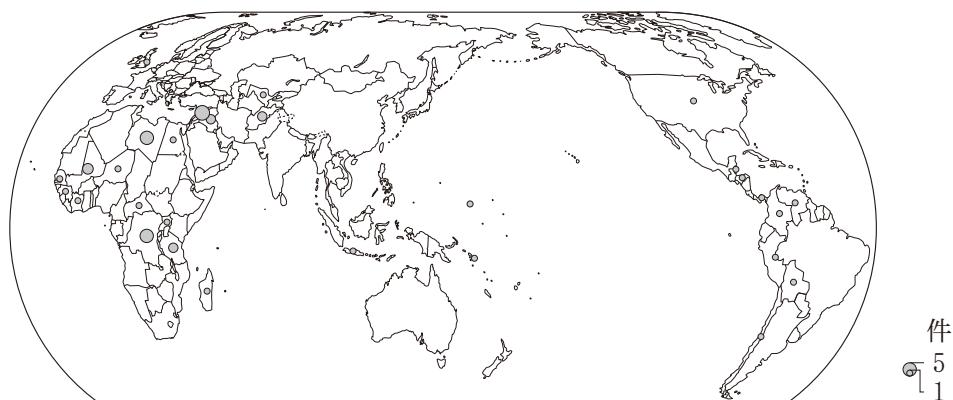
**遺産価値消失の危機に瀕している世界自然遺産と世界文化遺産。

地理 A



統計年次は2020年。日本ユネスコ協会連盟の資料により作成。

図 4



統計年次は 2020 年。日本ユネスコ協会連盟の資料により作成。

5

危機遺産は西アジアやアフリカに多い。危機遺産がそれらの地域に多いのは、(X)が主な理由となっている。

- a 観光開発による景観破壊
 - b 紛争や内戦などの政情不安

- ① マとa ② マとb ③ ミとa ④ ミとb

地理A

第3問 热帯域における生活・文化に関して、マリナさんたちによるグループ学習で探究した内容に関する次の問い合わせ(問1～6)に答えよ。(配点 20)

問1 マリナさんたちは、身近な熱帯作物のバナナに関する次の図1を見ながら話し合った。図1中のaとbは、バナナ*の生産量と輸出量の上位5か国のいずれかを示したものである。会話文中的空欄アとイに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

13

*調理用のバナナを含む。



中国には台湾、ホンコン、マカオを含まない。経線・緯線は30°間隔。

統計年次は2017年。FAOSTATにより作成。

図 1

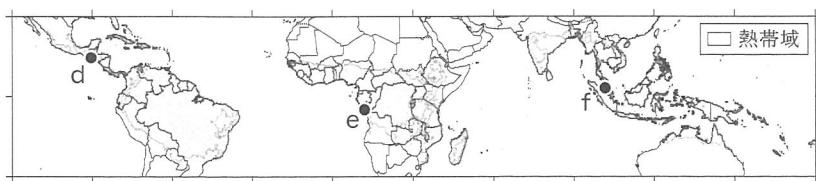
マリナ 「バナナの生産量上位5か国には、日本のお店ではあまり見かけない生産国も多く、(ア)が生産量を示した図とわかるね」

トオル 「生産量と輸出量が両方とも多い国は、(イ)として生産するバナナの割合が高いと考えられるね」

	①	②	③	④
ア	a 自給的な作物	a 商品作物	b 自給的な作物	b 商品作物
イ				

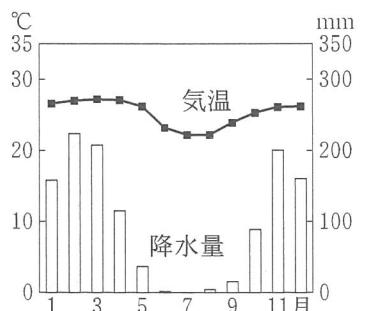
問 2 バナナから熱帯域の自然環境に着目したマリナさんたちは、熱帯域の分布を示す次の図 2 などを作成した。後の図 3 は、図 2 中の地点 d ~ f のいずれかにおける月平均気温と月降水量を示したものである。また、後の写真 1 中の力とキのいずれかは、図 3 のような特徴の気候がみられる地域の代表的な植生景観を示している。図 3 に対応する地点と写真との組合せとして最も適当なものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。

14



経線・緯線は 30° 間隔。World Bank Data Catalog などにより作成。

図 2



省略

力

『理科年表』により作成。

図 3

省略

キ

写真 1

キ

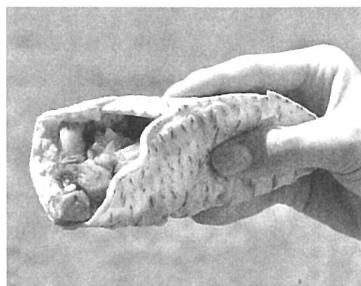
	①	②	③	④	⑤	⑥
地 点	d	d	e	e	f	f
写 真	力	キ	力	キ	力	キ

地理 A

問 3 热帯の気候の特徴を確かめたマリナさんたちは、热帯の主な食べ物の特徴を調べた。次の写真2中の料理AとBは、中央アメリカと東南アジアのいずれかでみられる料理である。また、後の表1は、両地域における品目別の食料供給量*の割合の上位3位までを示したものであり、サとシは、中央アメリカと東南アジアのいずれかである。中央アメリカに該当する料理と食料供給量の割合との組合せとして最も適當なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

15

* 1人1日当たりカロリーベースの値。



省略

A 薄い生地を焼いたもので
野菜や肉などを巻く

B 細かく切った麺に様々な具
を入れ炒める

写真 2

表 1

(単位：%)

	1 位	2 位	3 位
サ	米 45.1	砂 糖 6.7	トウモロコシ 6.0
シ	トウモロコシ 31.0	砂 糖 12.2	小 麦 8.3

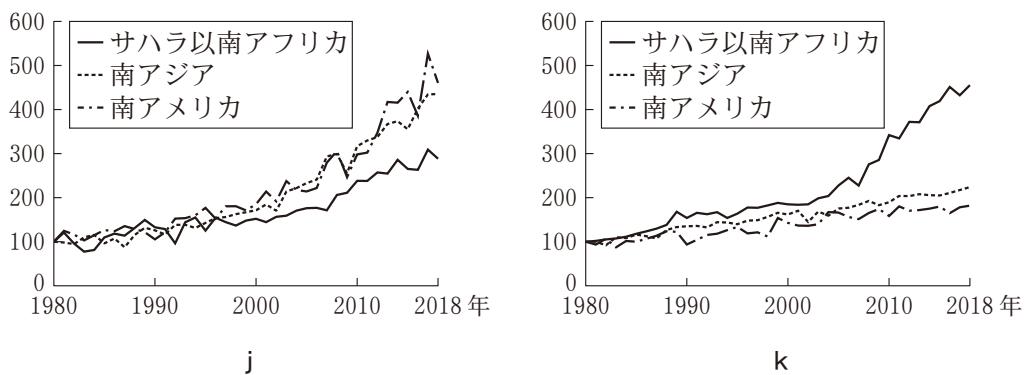
統計年次は2017年。FAOSTATにより作成。

	①	②	③	④
料 理	A	A	B	B
食料供給量の割合	サ	シ	サ	シ

地理A

問4 米とトウモロコシが食料供給量の上位になる地域が多いことを知ったマリナさんたちは、これらの農作物の生産量の推移を調べた。次の図4は、生産量について1980年の値を100とした指数で示したものであり、jとkは、米とトウモロコシのいずれかである。米の生産量と会話文中の空欄~~夕~~に当てはまる語句との組合せとして最も適当なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。

16



FAOSTATにより作成。

図 4

マリナ 「地域間で生産量の値に大きな違いがあったので、変化の特徴をわかりやすくするために図4のようにまとめてみたよ」

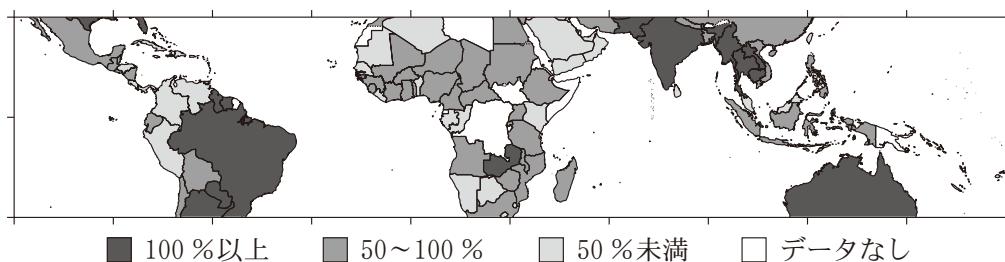
トオル 「量はわからないけど、変化の傾向は比較しやすいね。両方の作物で2000年ごろから急速に生産量が伸びている地域があるね」

マリナ 「食料増産や燃料の確保に関連して、これらの作物の生産が増えていると聞いたよ。米の場合、主に(~~夕~~)生産のためと考えられるね」

	①	②	③	④
米の生産量	j	j	k	k
夕	食 料	バイオ エタノール	食 料	バイオ エタノール

地理 A

問 5 热帯の自然環境や食物、農業の特徴について確認したマリナさんたちは、地球的課題の一つである食料問題との関係について考えた。次の図5は、穀物自給率を国・地域別に示したものである。図5を見て話し合った会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。



中国的数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。経線・緯線は30°間隔。

統計年次は 2017 年。FAOSTAT により作成。

5

- マリナ 「① アジア、アフリカ、南アメリカの中で、穀物自給率が100%未満の国はアフリカに多くみられるね」

トオル 「② アフリカの穀物自給率が低い国々では、主に輸出用の穀物が生産されるために、自国で消費する主食用穀物が不足しているね」

ユウナ 「穀物自給率が低い国の中でも、③ マレーシアのように、経済発展によって国民所得が増えて輸入穀物への依存が高まっているところもあるよ」

マリナ 「一方で、④ ブラジルのように、農地面積が広いため、安定した食料の確保が可能で穀物自給率が高く、輸出もしている国もあるね」

地理A

問 6 最後にマリナさんたちは、熱帯域における農業問題や食料問題、およびそれらの解決策について話し合った。解決策についてまとめた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 干ばつなどの自然災害が原因で起こる飢饉に対応するためには、その地域で古くから行われている農業を推進していくことが重要となる。
- ② 持続的に食料供給量を確保するためには、焼畑農業で土地の利用サイクルを早めることで生産性を高めていく必要がある。
- ③ 単一作物を栽培し輸出している国は、国際価格の変動の影響を受けやすいため、生産品目の多角化や自給作物の生産を進めることが重要である。
- ④ 慢性的な貧困による飢餓を解消するためには、子どもも積極的に農業に参加させることで労働力を確保し、世帯収入を増やしていく必要がある。

地理A

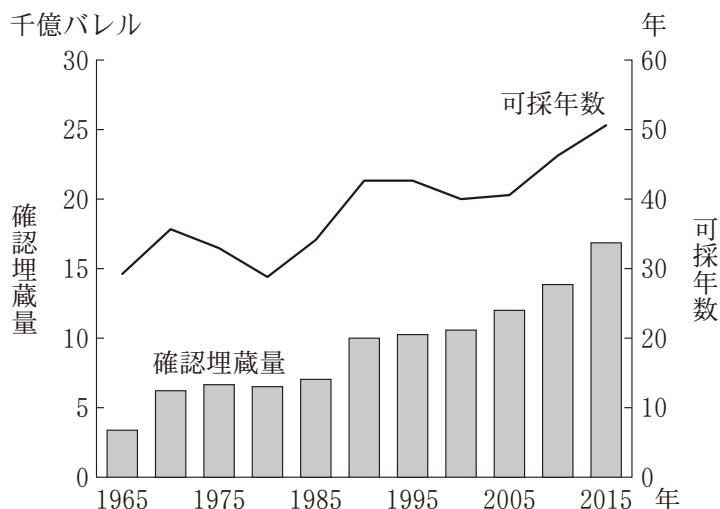
第4問 地球的課題に関する次の問い合わせ(問1~6)に答えよ。(配点 20)

問1 将来における資源の枯済可能性を考える指標として可採年数がある。次の図1は、世界の石油の確認埋蔵量*と可採年数**の推移を示したものである。確認埋蔵量と可採年数が増えている理由として適当でないものを、後の①~④のうちから一つ選べ。

19

*ある年に確認されている石油の埋蔵量。

**ある年の石油の確認埋蔵量をその年の年間生産量で割った値。



1 バレルは約 159 リットル。

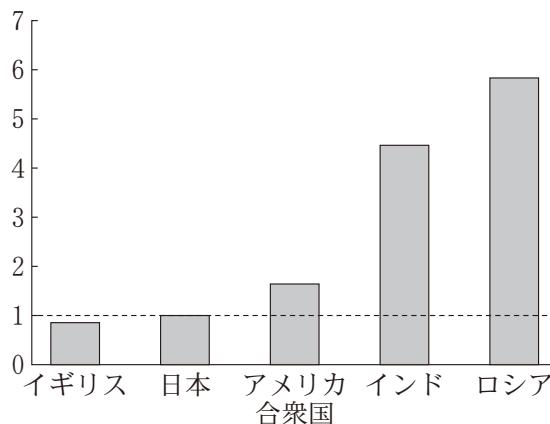
BP の資料により作成。

図 1

- ① 再生可能エネルギーへの転換が進み、世界全体で石油の需要が停滞した。
- ② 資源の重要性が増すにつれ、多くの地域で新たな油田の開発が進展した。
- ③ 石油の国際価格が上昇し、条件の悪い油田でも採算がとれるようになった。
- ④ 採査や採掘の技術が進歩し、これまで以上に石油資源が採取可能になった。

問 2 温室効果ガスの排出を削減するためには、各国のエネルギー消費のあり方が重要になる。次の図2は、イギリス、日本、アメリカ合衆国、インド、ロシアの5か国のGDP当たり1次エネルギー消費量について、日本の値を1として示したものである。図2から読み取れることがらとその背景について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

20



統計年次は2017年。

資源エネルギー庁の資料により作成。

図 2

- ① イギリスは、エネルギー消費の少ない牧畜業や食品加工業が大きな比重を占めているため、日本より値が低いと考えられる。
- ② アメリカ合衆国は、国土が広く自動車の利用が中心で、エネルギー消費の多い社会となっているため、日本より値が高いと考えられる。
- ③ インドは、国内の豊富な石油資源を用いて輸出目的の製造業が成長したため、アメリカ合衆国より値が高いと考えられる。
- ④ ロシアは、気候が寒冷で主に石炭を利用した暖房設備のエネルギー効率が高いため、アメリカ合衆国より値が高いと考えられる。

地理A

問 3 森林面積の変化を考えることは、自然環境の保全や資源管理において重要である。次の表1は、陸地面積に占める森林面積の割合と森林面積の変化率を地域別に示したものであり、A～Cは、アジア、アフリカ、南アメリカのいずれかである。地域名とA～Cとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

21

表 1

(単位：%)

	森林面積 の割合 (2020年)	森林面積の変化率 (2000～2020年)	
		天然林	人工林
A	48.3	-9.7	1.2
ヨーロッパ	46.0	0.2	1.2
北・中央アメリカ	35.3	-1.9	1.9
オセアニア	21.8	0.5	0.6
B	21.3	-10.7	0.3
C	20.0	-1.0	7.0

ヨーロッパにはロシアを含む。天然林と人工林の変化率は、2000年の森林全体の面積に対するそれぞれの増減面積の比率を示している。

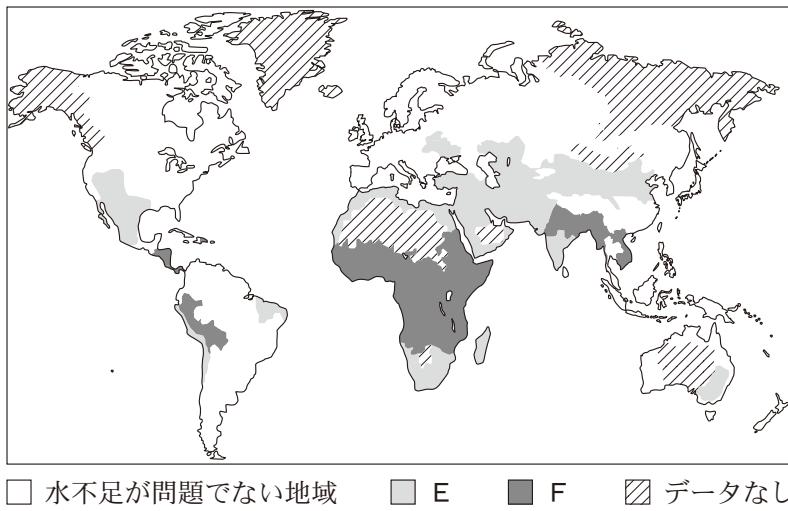
FAOSTATにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
アジア	A	A	B	B	C	C
アフリカ	B	C	A	C	A	B
南アメリカ	C	B	C	A	B	A

地理 A

問 4 水不足には、降水や陸水が少ないといった自然的条件によるものと、経済発展の遅れに伴い水へのアクセスが困難になるといった経済的条件によるものとがある。次の図 3 は、世界で水不足が発生している地域を示したものであり、凡例 E と F は、自然的条件による水不足の地域と経済的条件による水不足の地域のいずれかである。また、文アとイは、水不足に対する取組みを述べたものである。経済的条件による水不足の地域と、その地域の持続的な発展につながる取組みの文との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

22



JICA の資料により作成。

図 3

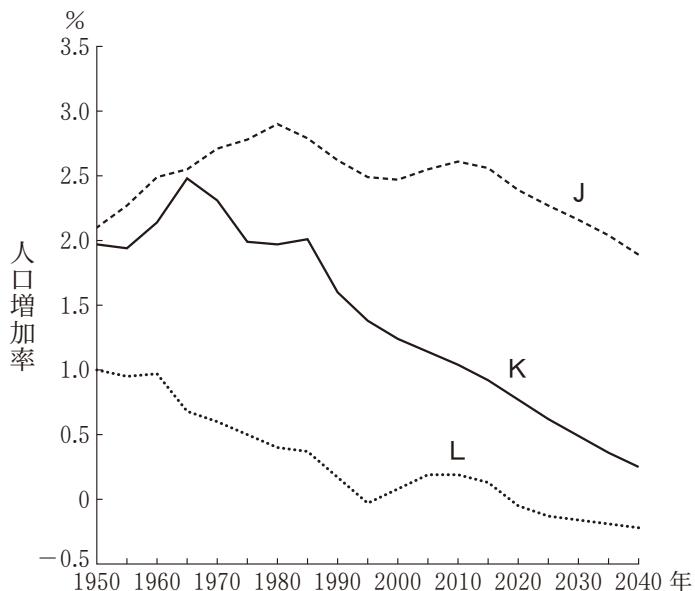
- ア 外国から安い価格で水を輸入する
イ 水道を整備して衛生的な水を供給する

	①	②	③	④
経済的条件による水不足の地域	E	E	F	F
持続的な発展につながる取組み	ア	イ	ア	イ

地理A

問 5 次の図4は、いくつかの地域における人口増加率の推移を示したものであり、J～Lは、アジア、アフリカ、ヨーロッパのいずれかである。地域名とJ～Lとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

23



2020年以降は予測値。

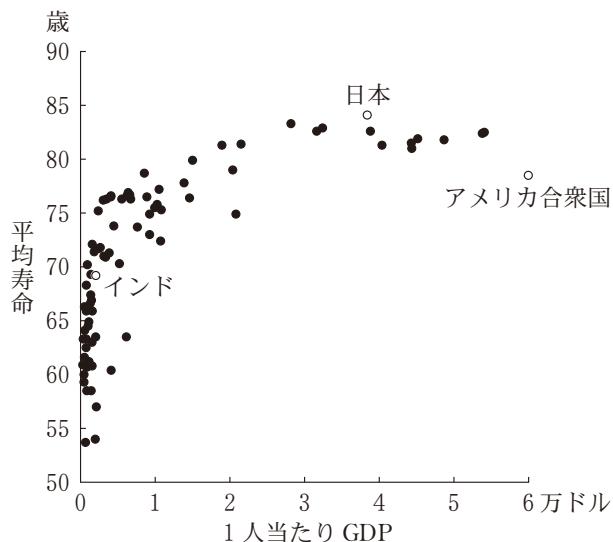
*World Population Prospects*により作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
アジア	J	J	K	K	L	L
アフリカ	K	L	J	L	J	K
ヨーロッパ	L	K	L	J	K	J

問 6 経済的な発展と国民の健康には関係があり、解決すべき課題も多様である。

次の図5は、世界の国の1人当たりGDPと平均寿命を示したものである。図5から読み取れることがらとその背景について述べた文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 24



人口1000万人以上の国を示した。

統計年次は2017年。

*World Development Indicators*により作成。

図 5

世界の平均寿命は経済発展と関連がみられ、所得水準の高い国では平均寿命が長い傾向にある。①1人当たりGDPが1万ドル未満の国では平均寿命のはらつきが大きい。また、②平均寿命が75歳を超えている国では、1人当たりGDPが3万ドル以上となっている。

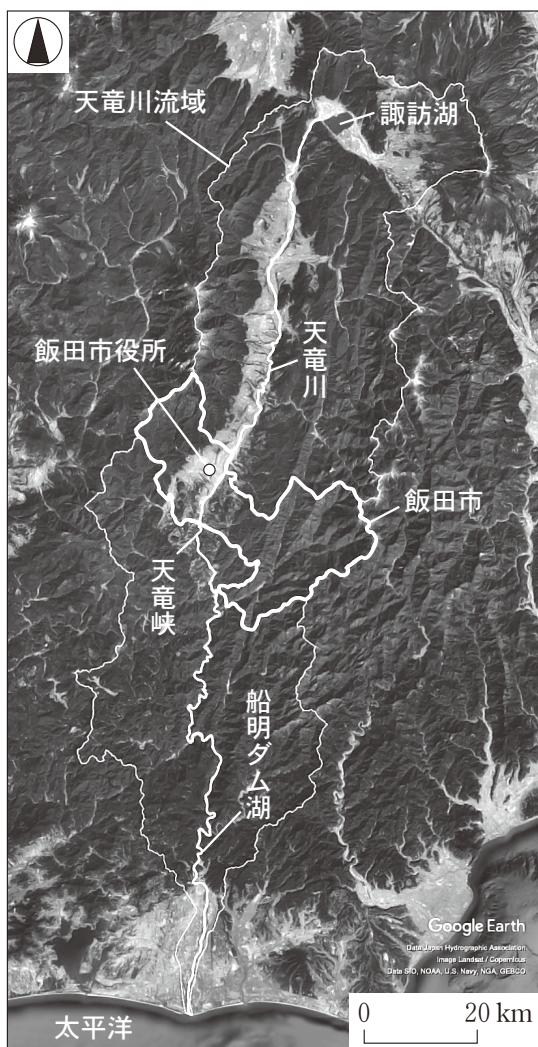
アメリカ合衆国では、日本より1人当たりGDPが高いものの、平均寿命が短い。その背景の一つには、③高カロリーの食事などの生活習慣があると考えられる。また、1人当たりGDPが低いインドでは、④貧困の解消や衛生環境の改善が課題であると考えられる。

地理A

第5問 長野県飯田市の高校に通うリュウさんたちは、飯田市の地域調査を行った。この地域調査に関する次の問い合わせ(問1～6)に答えよ。(配点 20)

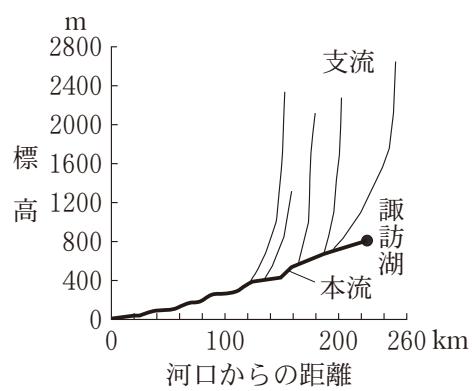
問1 リュウさんたちは、飯田市の自然環境を理解するために、飯田市を南北に流れる天竜川の流域全体に関する特徴を図書館やインターネットで調べ、次の図1～3を入手した。これらの図をもとにしたリュウさんたちによる会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

25



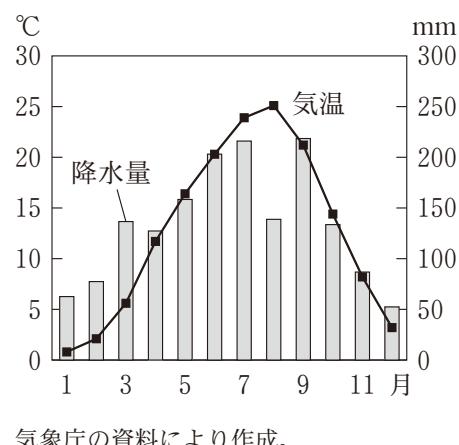
Google Earthなどにより作成。

図 1



国土交通省の資料により作成。

図 2



気象庁の資料により作成。

図 3

地理A

リュウ 「天竜川流域を示した図1を見ると、天竜川は、諏訪湖を出た後に南下し、太平洋にそいでいるよ。飯田市よりも上流の①天竜川の左岸と右岸の流域面積を比較すると、左岸の方が広くなっているね」

ウタ 「図1の天竜峡よりも上流では河川に沿って市街地や農地が広がっているけれど、②天竜峡から船明ダム湖にかけては、より山がちになっているね」

ミドリ 「天竜川の本流と支流の河床の標高と、河口からの距離との関係を示した図2を見ると、③天竜川に合流している支流の勾配は、天竜川の本流よりも緩やかなことがわかるね」

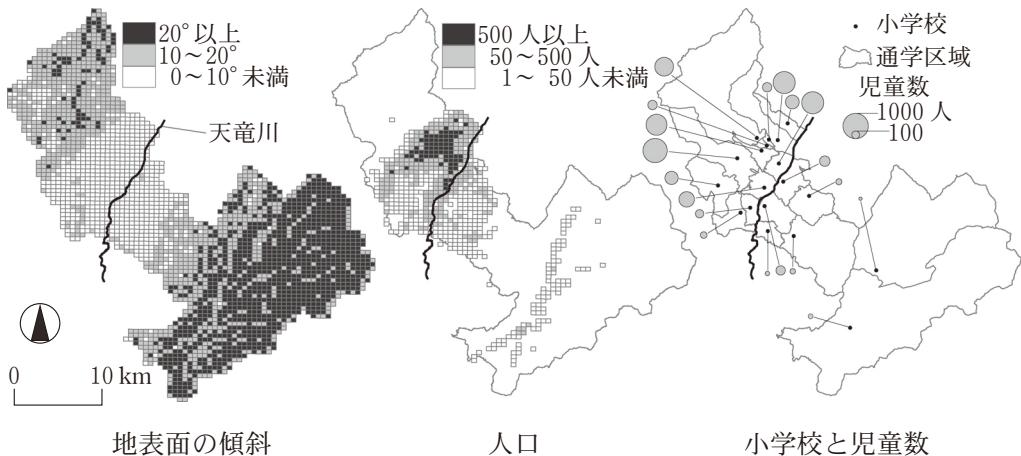
リュウ 「天竜川の流量はどうなっているのだろう。図3の飯田市の雨温図から、④天竜川の水量は冬よりも夏の方が多くなると考えられるね」

ウタ 「こうした河川の特徴を活かして、飯田市から河口部まで木材を運搬していたそうだよ」

ミドリ 「天竜川の流域全体から、飯田市の自然環境の特徴が理解できるね」

地理A

問 2 リュウさんたちは、飯田市の市域が天竜川をまたいで広がっていることに興味をもち、飯田市の地表面の傾斜、人口、小学校と児童数に関する次の図4を作成した。図4から読み取れることがらについて述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 26



傾斜および人口は 500 m メッシュで示した。人口でメッシュのない範囲はデータなし。統計年次は、人口が 2015 年、児童数が 2019 年。国土交通省の資料などにより作成。

図 4

- ① 天竜川に沿った地表面の傾斜が小さい地域は、人口が少ない。
- ② 天竜川から離れた地表面の傾斜が大きい地域は、小学校の通学区域が広い。
- ③ 天竜川の東側の方が、西側に比べて児童数が多い。
- ④ 小学校は地形条件や人口にかかわらず、均等に分布している。

地理 A

問 3 リュウさんたちは、地理院地図の機能を活用して作成した次の図 5 を見ながら現地調査を行い、地形の特徴を確認した。リュウさんたちが話し合った会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

27

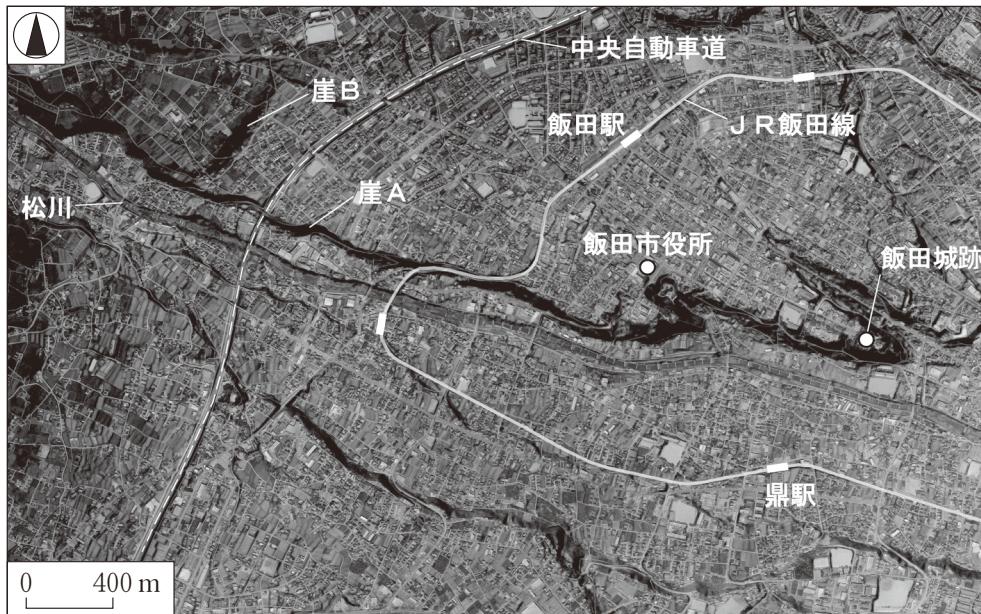


図 5

リュウ 「市街地には、天竜川の支流である松川^{まつかわ}が西から東に流れているよ。飯田駅や飯田市役所は松川の北側にあるね。崖Aは松川の流れに沿っているけど、崖Bは松川の流れにほぼ直交するから、①崖Bは、松川による侵食でつくられたものではないと思うよ」

ウタ 「②飯田城跡は、段丘の末端付近に立地しているね」

ミドリ 「JR 飯田線には大きく曲がっている箇所があるね。③駅がある場所の標高は、鼎駅の方方が飯田駅よりも高いね」

リュウ 「④中央自動車道は、松川がつくった氾濫原と段丘面を横切って建設されているね」

地理A

問 4 リュウさんたちは、1947年の大火灾をきっかけに飯田駅の南東側で大規模な復興事業が実施されたことを知った。そこで、リュウさんたちは市街地にどのような大規模火災の被害軽減策がみられるかを観察し、地点E~Hで写真を撮影し、次の資料1にまとめた。大規模火災の被害軽減策として当てはまらないものを、資料1中の①~④のうちから一つ選べ。

28

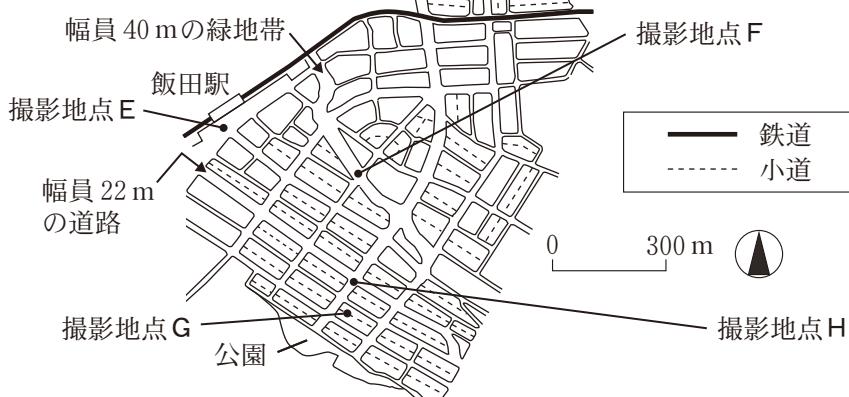
資料 1



① E：斜めに横断することもできる交差点



② F：公園にも利用されている緑地帯



③ G：建物の間隔を広げてつくられた小道

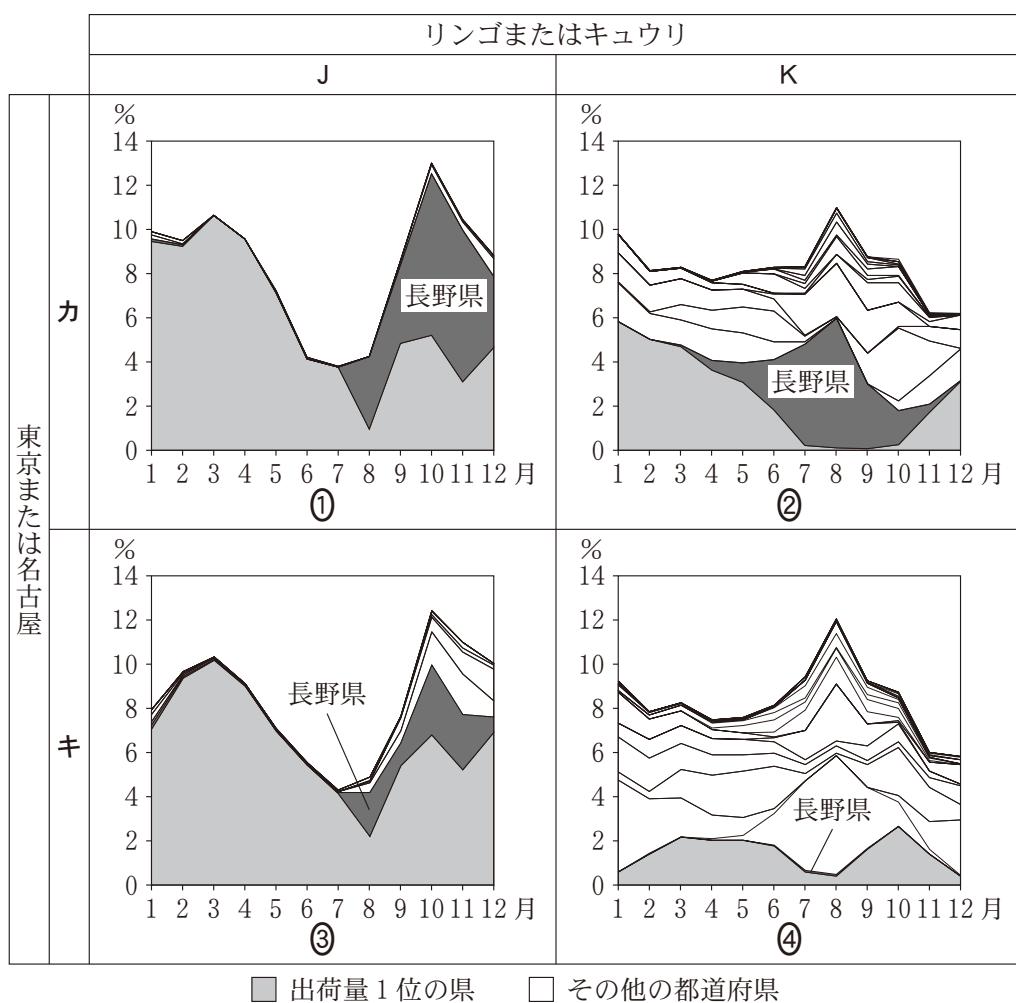


④ H：中央分離帶のある幅の広い道路

越山ほか(2001)などにより作成。

問 5 飯田市の農業に興味を持ったリュウさんたちは、飯田市周辺で盛んに栽培されているりんごとキュウリについて、長野県全体の出荷時期と出荷先を調べた。次の図6は、東京および名古屋の中央卸売市場における都道府県別の入荷量の月ごとの変化を、年間の入荷量を100としたときの割合で示したものである。図6中のJとKはりんごとキュウリのいずれか、力とキは東京と名古屋のいずれかである。東京の中央卸売市場におけるりんごの入荷割合に該当するものを、図6中の①～④のうちから一つ選べ。

29



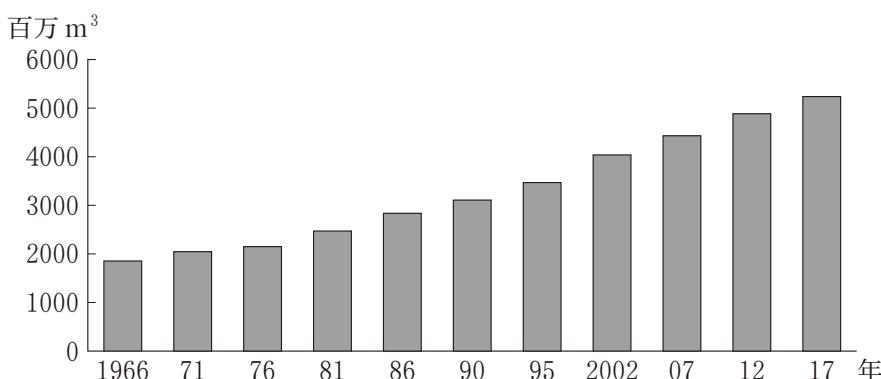
統計年次は2020年。東京都中央卸売市場の資料などにより作成。

図 6

地理A

問 6 リュウさんたちは高校に戻って、環境モデル都市に選定されている飯田市の取組みについて先生も交えて話し合った。先生が用意した次の図7は、日本の森林資源量の年別の数値を示したものであり、後の資料2は、リュウさんたちがまとめた森林資源の活用案である。リュウさんたちと先生との会話文中の空欄サには後の文eとfのいずれか、空欄シには資料2中のXとYのいずれかが当てはまる。空欄サとシに当てはまる文と活用案との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

30



数値は樹木の幹の体積を示す。林野庁の資料により作成。

図 7

先生 「図7は、日本全体における森林資源量の年別の数値を示したものですが、飯田市でも同様の傾向がみられます。この図からどんなことが考えられますか」

リュウ 「宅地化などで森林がなくなっていると思っていたけれど、森林の資源量は増加しているんですね」

ウタ 「この要因として、(サ)によって伐採量が減少していることがあげられると思います」

先生 「飯田市は森林面積の割合が80%以上と高い値を占めていますし、これらの森林資源を活用することが重要ですね。グループで話し合い、活用案をまとめてみてください」

地理A

ミドリ 「二つの活用案を考え、資料2を作つてみました。森林資源を持続的に活用するためには、活用案(シ)の方がより有効だと思います」

先生 「今後の授業でさらに学びを深めていきましょう」

(サ)に当てはまる文

- e 環境意識の高まりや新たな規制の制定で、樹木の伐採が制限されたこと
- f 高齢化の進展や後継者問題などで、林業従事者が不足したこと

資料 2

活用案X

活用案Y

ペレットストーブの普及を促進する

- ・ペレットを燃料にしたストーブを使えば化石燃料の利用量を減らせる

ペレット：間伐材やこれまで利用されてこなかった端材などを粉碎して固めたもの



活用されていない山林にソーラーパネルを設置する

- ・ソーラーパネルは、発電時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出さない



	①	②	③	④
サ	e	e	f	f
シ	X	Y	X	Y